

# 幼稚園教育と児童保護事業

内務省囑託 小澤 一

## ○児童保護事業と教育的方面

### の考察

此頃、児童教育に關係ある有識者が、幼兒保育のことに、次第に注目するようになり、直接幼稚園教育に携はる人は勿論、その他の方面の教育家が、社會事業に關係ある方面と協力して、下層社會の幼兒の保育といふことについて、漸次、問題を喚起する方に進んで來た。そして、これに關する諸種の運動施設が計畫されつゝあることは誠に喜ぶべき事である。

これまで、下層社會の幼兒の保護教養といふ問題は、社會事業の立場からのみ考へられておつたものが、今や、各方面の教育家の奮起を見るに至つたといふことを特に喜ばしく思ふ所以は、私自身が從來の經驗上、ことに我が國の児童保護事業の上に、教育的な方面が甚だ幼稚であり、しかも社會事業の一

面は、どうしても教育的な見地よりして考究せねばならぬものであることを、痛切に感じて居るからである。

元來、社會事業としての兒童の養護、教育といふことは、多くは、孤兒や貧兒を一施設内に收容して教育し、或は、貧家の幼兒を晝間保育所に入れて、その母親が勞働が充分出来るようにするとか、或はあのくらい生活状態から、せめて晝間だけでも救ひ出して、秩序のある、あかるい保育所の中で養育しようといふことにあるので、社會的施設としては、かゝる子供等を貧しい母親にかはつて、晝の間保育するといふことが主で、兒童の生活なり、兒童の發育に關して、もつと重要な、教育的方面の考察が、遺憾ながらこれら社會事業の上に、甚だ乏しきことを思ふ、それ故に、いふ迄もなく、これら孤兒貧兒の保護教養は、社會一般の進歩、及び各方面の有識者の協力にまたねばならぬのであるが、未だ幼稚な

我が兒童保護事業に於て、從來、直接この事業に從事せぬ他方面の有識者の同情理解と、直接關係の援助といふことがどうも充分でなかつたやうに思ふ。

私は、永い間、東京のかゝる種類の子供を教養する場所に働いてゐたが、市内の育兒院とか、保育所とかいふ場所に、この種の子供を見舞ひ、參觀に来る人が割合に少いことを思ふ。ことに兒童教育に直接關係してゐる人が、かゝる場所を、もつと繁々見舞つてほしいといふことを痛切に感じたのである。

## ○子供ながらに同情の心を

ここに、我々自身の子供が又世間一般の、所謂幸福なる子供等が、かゝる氣の毒な子供等に對する時その幼なきながらに相當の道德、宗教、思想上の芽を培つて、將來、他人に對して同情し理解することが出来るようにありたい。かゝることは、やはり、幼兒が無意識の間に、世の憐れなるものに對して感ずること、社會の差別、そのさまじくの事相について、しらすくの中にも考へをむけるようにすることが大切である。ある夜自分は子供をつれて、縁日のそばを通つたことがある。その時に、とある横町に

迷兒になつて幼兒があつた、大分人ばかりがしてゐた。よく調べて見ると、その子は捨兒であつた、そうともしたらぬ、可愛そうなその子は、しきりに自分をつれて來たものを、探しもどめてゐる。この有様をぢつと見てゐた私の子供は、無意識のうちに、この幼ない子が、薄暗い裏町で、父か母かに置き去られたことをしり、その子に對する思ひ遣りがをこつた。その中に、その子が巡查につれられて行くのを見て、私の子供は、心配そうな顔をして、尋ねた。

この時、自分はしづかに、「あの可愛そうな子は、お父さまが、毎日通つてゐる院につれて行かれる、そこでいろ／＼お世話になるのですよ」といひきかせると、子供は、父親の働いて居る事業の意味が初めてわかつたさうにも、その可愛そうな子供に對する同情と心配とが、この時、初めて解決したように見えた。

これは、ほんの一例に過ぎないのであるが、實際彼等幼兒が、世間の可愛そうな人、あはれむべき事について、子供ながらの悲しみや心配をもつ事は、私自身の經驗から考へて、なか／＼多いと思ふ。ここに、かゝる點で都會生活をしてゐる子供は、接す

る人々の範圍がひろいために、したがつて、世の同情すべきもの、いたまじきものが如何なる風に生活してゐるか、いつとはなしに彼等幼なきものゝ心にうつつて、したがつて、これについての疑問もおこる。この心を如何に導くべきかについては、教育者が充分に考慮したい。この意味で、幼稚園、小學校、進んでは中等教育をうけるようになって、直接にかゝる慈善事業を見させるようになって、これに對する同情理解を得させることが必要であると思ふ。

### ○教育と保護との堅い握手

こゝに於て、兒童教育に携はるものと、兒童保護事業に従事するものとは、是非とも社會的に握手協力するものでありたい。兒童保護事業はどうしても教育的な基礎の上にたつて研究され、經營されて行くものでなければならぬ。このためには、教育者自ら兒童保護事業に注意を拂つて、直接間接の援助をするようになって頂きたい。そうすれば必ず、兒童保護の上にな益するところ多きを疑はないのである。

兒童保護事業は、近頃漸次に進歩して、その範圍

もひろくなつて行くことであるが、貧兒に對する晝間保護事業は幼兒期の保護をなすといふ上からしてまた、一面に於ては、また貧しきながらに、家もあり親もある子供等を、その貧しき家庭もろともに保護して、少しでも明るい環境をつくつてやると云ふことだから云つても重要な位置をしめて居るのである。

かゝる保育事業にむかつて、普通の幼稚園事業に携はる人が次第に注意をはらふといふことは、たゞに救濟的の意味における晝間保育事業に裨益あるばかりでなく、また慥かに、普通幼兒の保育についても、必ずためになることであらうと思ふ。

### ○人しれぬ苦勞がある

平素薄暗い世界に生ひたつて、幼時から身體の發育も心の状態も、餘程普通兒より遅れ、境遇のみぢめなためにさまざまの影響をうけてゐる貧兒の保育に従事してゐると、どうしても、折々は、あの快活な元氣に充ちた、幸福な子供等の幼稚園を見舞つて明るい、暖かい心持ちに充ちた幼兒に觸れたいといふ事を切に望むのである。これによつて、貧しい境遇にある子供等を少しでも、幸福な境遇に生れたも

## ○熱心と人格、その上に學識

を

の、發育状態に近づけ、導いて行きたいと思ふのである。しかし現下の我國のこの種の保育事業は、設備も誠に不完全であり、保母なり教師なりの地位がまだ、氣の毒な状態にある。下層社會の幼兒を眞に將來の幸福な境地に導かんがためには、第一に、保育者その人に適任者を得なければならぬことは、いふ迄もなく、設備といふ點もこの事業の進歩とともに益々必要なことが多くなる。ことに考へねばならぬことは、かゝる保育事業に従事する保母は、普通の幼稚園の保母と比べて、實に人しれぬ苦勞の多いことである。大抵、どこの保育所でも、母親が勞働に出るまへに子供を頼みに來るから、もう朝の七時前後から初まる。そしてながき一日を、何くれとなく世話をなし相手になつて、夕方はといへば、五時もしくはそれ以上遅くまでも、子供は保育所に居る。しかも、その設備は不充分であるから、保母は終日を、氣の毒な子供のために骨折ることのみ多くして、あかるい、愉快な心持で、はれ／＼しい氣分で毎日をすごすといふことは餘程困難である。その心身の疲勞といふことは、到底、經驗なきもの、想像の及びがたいところである。

そこで、要するに、普通の幼稚園教育に従事する人々が、この種の保育に向つて、更に一層の注意を拂ふ様になつてほしいのである。幼兒の保育に對して、熱心な、人格のそなはつた、しかも、この方面の教育に充分の知識をそなへ研鑽をつんだ保母が、よし、一つの保育所に一人づゝでもよいから力をそそぐようでありたい。かくて、我が國の兒童保護事業が、一層しつかりした基礎をもつて、實際的にも學究的にも進んで行くようにと、私は希望してやまない次第である。

(未校閱……文責記者)

### ○眼醫者

千代子「私れ昨日お耳が悪くて眼醫者へ行つたの」  
てる子「あら眼醫者？」

千代子「耳の眼醫者へ行つたのよ」